



桑の実

歴史に学ぶ

里山活動



「吉岡里山」は、「原（はら）」と呼ばれる吉岡中学校周辺の台地の林野です。今、里山の傍らでは忘れられた桑の老木に実が色づき始めました。林では画眉鳥（ガビチョウ；愛玩用に中国から輸入され国内に広まった厄介な「侵略的外来種」）が賑やかです。

さて、1999（平成 11 年）年に始まった里山活動も四半世紀、来年は 25th anniversary（25周年）です。「想えば遠くへ来たもんだ」です。さて、「温故知新」、歴史に学ぶのは、「今を知り未来を創る」為です。

そこで、吉岡里山活動のルーツを溯（さかのぼ）ってみましょう。

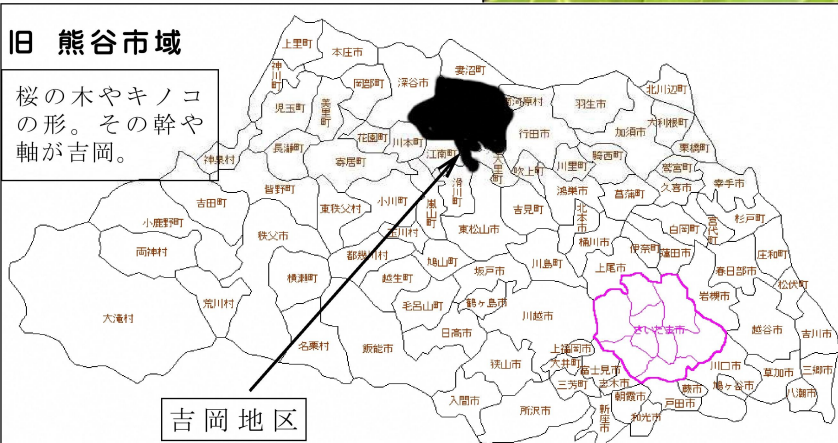
日本経済は、1970 年代までの高度成長、1980 年代のバブル経済を経て、1990 年代初頭にバブルが崩壊し、今に続く「失われた 30 年」が始まりました。環境問題は、高度成長の負の側面である反公害から地球環境問題へと広がり深化しました。「宇宙船地球号」喫緊（きっきん）の危機が国民的に意識された頃です。1993 年に「環境基本法」、2000 年に「循環型社会形成推進基本法」、2008 年に「生物多様性基本法」が制定されます。環境庁は、2001 年、「環境省」に格上げされました。ジブリ作品『となりのトトロ』は 1988 年、『もののけ姫』は 1997 年に初上映されました。

こうした世相を背景にして、熊谷市職員の自主研究グループが、「里山（吉岡山）の再生」の実践に取り組み始めました。選ばれたフィールドが吉岡。当時の（旧）熊谷市内で里山と呼べるまとまった雑木林があるのは、唯一、比企丘陵の最先端にある吉岡地区だけでした。中学校駐車場西側の市有地（戦前の村立避病院跡地）は、長年人手が入らず雑木林が竹林に変わり、昼間でも暗く怖い藪（やぶ）と化していました。竹林をどうするか？竹を伐採し、竹筒の天体望遠鏡による観望会や竹細工教室、炭焼き窯での竹炭焼き教室を行い、住民の雑木林への関心と呼び起こす。その竹伐採の手助けを地元企業や地域奉仕団体に依頼しました。そして、この活動を持続的に支えるために地域の住民・中学校・企業・行政四者からなる『吉岡八幡グランドワーク』が設立され、埼玉県が推進する「彩の国グランドワーク」の対象として活動許可を得ました。グランドワークとは、1980 年代、イギリスのサッチャー首相が始めた地域の環境改善運動です。衰退した地域（グランド）再生を、行政主導ではなく、市民・企業・行政の三者が協働（ワーク）して環境整備や自然再生などに取り組む運動です。日本では 1995 年に「日本グラウンドワーク協会」が設立されました。

その後、植栽活動、啓蒙活動として夏の里山コンサート（平塚子ども八木節、中学生による器楽演奏、大学生のフォーク演奏等）、冬の焼き芋・豚汁会、地主様の了解を得られた近隣私有地にフィールドを拡大、自治会連合会や公益基金の助成金による活動機材購入、大学生ボランティア団体の協力、中学校 P T A 主催の夏祭りイベント（流しそうめん、竹の灯り、竹遊び等）参加等、活動を持続、充実させてきました。その成果は、県シラコバト賞、市環境表彰を受賞し評価されています。

「たかが里山、されど里山」です。無理をせず、楽しく、繋げていきたいものです。そして、ちょっぴり、吉岡の風土や歴史、地域や地球のこと、自然や人との繋がり、幸福観などを感じたり、気づかされたりしたらよいと思います。

5 月 14 日（日）、吉岡中学校で定期総会が開かれました。今年も、6・7・9・11・12・2・3 月の第 2 日曜日に活動を予定しています。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。



参考資料

- ・自主レポート「里山（吉岡山）の再生」 市職員自主研究グループ 2002
- ・くまがやネットボランティア HP 2005
- ・日本グランドワーク協会 HP 2023
- ・総会資料「吉岡の里山 成り立ち」 2023

「吉岡里山だより」アンケート回答 !!

総会参加者に『「吉岡里山だより」アンケート』をお願いしました。

○アンケート依頼文

一昨年度（R 3）の定期総会で、里山の活動を地域の皆様により広く知っていただく為に、広報活動を行うとよいとの意見が出され、「吉岡里山だより」を発行しています。モノクロ版を自治会の回覧板で地域の皆様に広報し、PDF カラー版を希望者に送信しています。

昨年度は、①写真撮影を中学生や大学生に依頼しました。②モノクロ版印刷は中学校にご協力いただきました。③活動記録と共に、季節感を大切にして、「環境」と「地域」の視点からテーマやエピソードを設定しました。振り返るとやや編者の個人的視点が色濃いかなども感じられます。

本年度も引き続き、無理のない範囲で、里山だよりを発行し地域に回覧し、希望者に PDF カラー版を送信する予定です。

より良い紙面作りのため、下記のアンケートにご協力ください。

○アンケート回答（原文のまま、太字は建設的な意見や提案）

1 昨年度「吉岡里山だより」Vol.6～13の感想や意見を記述してください。

- ・ 吉岡里山だよりは、カラーで写真も入っており、活動の内容がわかりやすい。
活動の内容を知ってもらうため、市長や埼玉新聞社に（現地に）来ていただき、記事を書いていただくのはとてもよい考えだと思います。
- ・ その時々々の活動の記録としても体験重要な取組だと思います。何かと手間がかかることとは思いますが、引き続き後生への財産としていただければと願っています。
- ・ 会の活動だけでなく、歴史や社会的視点での記述もあって、とても意義のある資料だと思います。
蓄積して、どこかの時点でまとめたらいいいと思います。
- ・ 毎回里山活動を中心に活動している人に頭が下がります。
数年前に竹を切る活動をさせてもらいました。昨年に続き今年も活動に参加させていただきたいと思います。
- ・ 貴重な里山の情報を「吉岡里山だより」を通じて頂いています。
このような機会は他からは得ることができないので、ありがたいです。
- ・ 活動内容が全員に周知することができている。
吉岡の歴史が掲載されており、「里山だより」を楽しみにしている。

- ・ たいへんきれいで立派な里山だよりだと思います。
活動の楽しさが伝わってきます。
- ・ よく調査された内容で、今後ともお願いします。
- ・ 吉岡地区(の自然環境)を守るために、とても意味のある活動だと思います。
カラー写真もとても見やすいです。
- ・ グランドワークに初めて参加させていただきました。里山を残していく大変よい活動だと思います。
里山だよりですが、市のホームページなどには載せていただけないのでしょうか？
動画などはあるのでしょうか？ないのであれば、制作されても良いのかと思います。
- ・ 中学生の参加を取り上げてもらえて Good!
写真撮影をしている大学生と中学生をコンビにしてみてもは？

Q2 本年度の「吉岡里山だより」がより良いものとなるよう、要望やアイデアなどを記述してください。

- ・ 中学校の生徒や PTA にもっと参加していただき、里山活動がこれからも（長く）続けていけたらと思います。
- ・ 近隣地域の里山保全活動を紹介するのも良いかも知れません。
吉岡中の北・西側の自然を守るだけでなく、吉岡地域全域に地域の自然を守る活動に広げる「ねらい」を意識したものになれば良い。
- ・ 写真が多く見やすいです。欲を言えば、文字がもう少し大きいといいです。
編集作業は大変だと思いますが、発行を楽しみにしています。
- ・ 今後とも大変なお仕事だと思いますが、よろしくお願い致します。
- ・ 参加を呼びかけるような「広報の月」があってもよいのではないかと。（しかし）参加が多いと事故の恐れもあるが…。
- ・ 里山に生息する樹木や草花の名前がわかると楽しいです。
- ・ 予算を増やして、行政への配布をしたいです。
- ・ 楽しく活動しているという事が分かる記事（や写真）だといいと思います。

ご協力ありがとうございました。ご意見を参考に一步步「漸進」(ぜんしん)していきたいと思います。

総会で、次の質問が出されました。そのヒントとなる参考資料です。

Q 里山にどんな樹木を植栽したらよいか？

《参考資料》埼玉県 HP くらし・環境より 環境部みどり自然課

埼玉県生物多様性の保全に配慮した緑化木選定基準

緑化木を選定する場合、これまで木の形や病虫害に対する抵抗性、手入れのしやすさを基準に行われ、地域固有な自然生態系への影響までは考慮されてはきませんでした。このため、使用されている樹木はほとんどが、外国産樹種や国内産だが本来その地域には生育していない移入種となっています。

この基準では、緑化に使用されている樹木が外来種もしくは移入種か、または在来種であるかを区分してあります。緑化木として在来種を使用する場合、それぞれの種類がどのような環境に適するかを明らかにしたものです。今後、県、市町村等の公共・公益事業だけでなく、事業所や家庭緑化を考える上の参考にしてください。

1 緑化するとき、どんな種類を選んだらよいか

県内の台地・低地部の森林や屋敷林には、次のような種類が自生しています。

この地域で、緑化木として植栽する場合、このような樹木を選ぶことにより、自然により優しい緑化を進めることができます。

落葉高木：イヌシデ、アカシデ、コナラ、クリ、ムクノキ、エゾエノキ、エノキ、ケヤキ、コブシ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、ネムノキ、カラスザンショウ、イロハモミジ、ミズキ、キリ、ハンノキ、アカメヤナギ

常緑高木：スダジイ、シラカシ

針葉樹常緑高木：アカマツ、スギ、ヒノキ、モミ、サワラ

落葉中高木：ヌルデ、リョウブ、アカメガシワ、ゴンズイ、エゴノキ、ニガキ、アオハダ

常緑中高木：シロダモ、ヒイラギ、ネズミモチ、ヤブツバキ

落葉低木：クサボケ、ヤマツツジ、サンショウ、イボタノキ、クコ、コマユミ、クサギ、ウツギ、マユミ、ムラサキシキブ、ヤマブキ、ナツグミ、ガマズミ、モミジイチゴ、タラノキ、ニワトコ、カマツカ、オカウコギ、ウグイスカグラ

常緑低木：ヒサカキ、アオキ、ヤブコウジ

落葉つる性：アケビ、ヤマフジ、ツタ、ノイバラ、エビヅル、スイカズラ

常緑つる性：キヅタ、テイカカズラ

2 緑化するとき、出来れば避けたほうがよい種類

緑化木の中には、植栽した場所だけではなく、種子が鳥や風に運ばれるなどして自然界に定着し、今まで生育していた種を駆逐したり、交雑により遺伝的特性を変えてしまうことなどにより、固有な生態系を変えてしまいますおそれのある種類があり、侵入的外来種と呼ばれています。

侵入的外来種については、出来れば植栽を控えることや竹笹類のように管理を適正に行うことにより、周辺に与える影響を軽減することが必要です。

落葉高木：オオシマザクラ、ニワウルシ、ハリエンジュ（ニセアカシア）

常緑中高木：トウネズミモチ

落葉低木：イタチハギ

常緑低木：ピラカンサ、ヤツデ、カクレミノ、シャリンバイ

竹笹等：モウソウチク、マダケ、オカメザサ、トウジュロ、シュロ